



平成19年5月18日

各 位

会 社 名 VTホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 高橋 一穂  
(コード番号 7593 名証第2部、大証HC)  
問 合 せ 先 取締役管理部長 堀 直樹  
(TEL 052-203-9500)

### (追加)「平成19年3月期 決算短信」の一部追加について

平成19年5月15日発表いたしました「平成19年3月期決算短信」について、下記のとおり一部追加を行います。「Ⅱ 定性的情報・財務諸表等 1. 経営成績 (3) 会社の利益配分に関する基本方針」の文末以降に以下の文章を追加いたします。

#### 記

#### (4) 事業等のリスク

当連結会計年度末現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項として判断したものであります。

##### ① 当社グループの事業内容について

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社、子会社29社関連会社10社で構成され、新車部門、中古車部門、サービス部門、レンタカー部門からなる自動車販売関連事業を中核事業とし、更に住宅関連事業、不動産賃貸事業、投資関連事業、環境関連事業を行っております。

当社グループは持株会社体制をとっており、当社の業務は、事業持株会社機能として各子会社の事務処理の代行業務、グループファイナンス、不動産の賃貸業務を行うと同時に、純粋持株会社機能として各子会社に対する投資、グループ事業戦略の企画立案、監査業務、広報・IR活動等のグループ経営管理を行うことに特化しており、自動車販売関連事業、住宅関連事業、投資関連事業、環境関連事業はその全てを子会社にて行っております。

それにより、当社単独の収益は子会社からの事務代行手数料、配当金、賃貸不動産の受取賃貸料に依存する構造となっており、子会社の事業展開や収益動向によって大きな影響を受ける可能性があります。

##### ② 企業買収、戦略的提携について

当社グループは、既存の事業基盤を拡大・補強するため、あるいは新たな事業分野への進出のために、事業戦略の一環として企業買収や資本提携を含む戦略的提携を行う可能性があります。

企業買収や戦略的提携に際しては十分な検討を行いますが、買収・提携後の事業計画が当初の計画通りに進捗しない場合には、当社グループの業績に悪影響を与える可能性があります。

##### ③ 有利子負債への依存について

当社グループは、企業買収や資本提携を含む戦略的提携のために必要となる子会社株式・投資有価証券の取得資金、グループファイナンス資金等を、主として金融機関からの借入金により調達しております。

当社グループとしては、資金調達手段の多様化に積極的に取り組み、改善を図ってまいりましたが、総資産に対する有利子負債依存度は高い水準にあるため、現行の金利水準が変動した場合には当社の業績および財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

また、資金調達に際しては、当社グループでは特定の金融機関に依存することなく個別案件ごとに金融機関に融資を打診し、融資の了解を得た後にプロジェクトを進行させております。但し、何らかの理由により今後必要となる資金調達が不十分となった場合には、事業展開の妨げになるなど当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

最近の当社グループの有利子負債の状況は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
長期借入金及び短期借入金 (百万円)	21,852	29,973
社債 (百万円)	300	300
有利子負債残高(A) (百万円)	22,152	30,273
総資産額(B) (百万円)	48,342	67,377
有利子負債依存度(A/B)	45.8%	44.9%

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

#### ④ 特定の取引先への高い依存度に係るもの

当社グループの中核事業であります自動車販売関連事業は、ホンダ系ディーラー1社、日産系ディーラー3社及び輸入車販売ディーラー3社、レンタカー会社1社、中古車輸出会社1社等により構成され、売上高ベースでみた場合、ホンダ系ディーラー1社及び日産系ディーラー3社が高い比率を占めております。

当社グループとしては、中古車部門、レンタカー部門の強化等により新車販売動向に左右されにくい企業体制を構築しておりますが、今後のホンダ車及び日産車の販売状況によっては当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

また、当社グループのホンダ系ディーラー1社は本田技研工業株式会社より、日産系ディーラー3社は日産自動車株式会社より新車ディーラーとして同社の製品を長期、安定的に仕入れ、当社グループの主力商品として販売しております。

最近の当社グループの本田技研工業株式会社、日産自動車株式会社への仕入依存度は次のとおりであります。

仕入先	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
本田技研工業株	10,250	30.3	10,340	14.1
日産自動車株	5,475	16.2	33,441	45.4
その他一般仕入先	18,100	53.5	29,816	40.5
合計	33,825	100.0	73,599	100.0

(注) 1 百万円未満は切り捨てて表示しております。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

以上